

第2回会議における質疑への回答

(質問①)

課題として「保育士の確保」を挙げているが、現状、市立保育所全体で定員数に対して不足している正規の保育士数はどのくらいなのか。また、各保育所における不足はどのくらいなのか。

(回答①)

令和7年4月1日現在で、保育所における正職員の保育士数は36人、定員に対して必要な保育士数は71人であるため、35人が不足している状況です。この不足分を会計年度任用職員の方々にカバーしてもらっています。

また、各保育所の状況については、下記表のとおりです。

保育所	正職員の 保育士数（人）	定員に対し必要な 保育士数（人）	不足数（人）
飯野保育所	7	14	7
吉野保育所	6	9	3
佐貫保育所	4	8	4
中央保育所	6	14	8
竹岡保育所	4	8	4
金谷保育所	4	8	4
峰上保育所	5	10	5
計	36	71	35

※ 正職員の保育士数には、日常的な保育に関わらない所長及び総括保育士も含まれています。

(質問②)

課題として「施設の効率的な運営」を挙げているが、再配置によりどのくらいの経費の削減を見込んでいるのか。

(回答②)

令和7年度当初予算ベースで申し上げますと、保育所において経常的に係る経費（消耗品、光熱水費、各種業務委託料など）や修繕費用、備品購入費用を含め、金谷保育所が約200万円、佐貫保育所が約310万円、峰上保育所が約470万円で、合計約980万円が再配置により削減できる経費とすることが見込まれます。